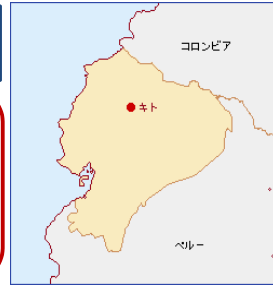




エクアドル共和国 (Republic of Ecuador)



- エクアドルへの無償資金協力の援助総額は2014年までに累計349.30億円。技術協力は243.52億円。
- エクアドルは石油など豊富な鉱物資源を有しており、農水産品の生産国であるが、所得格差や地域間格差が課題。
- 地震、津波、火山噴火など自然災害に脆弱であるため、日本は防災面でも協力を行っている。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 25.6万平方キロメートル(本州と九州を合わせた広さ)
- ・人口: 1,614万人(2015年, 世銀)
- ・首都: キト
- ・民族: 欧州系・先住民混血79%, 欧州系8%, 先住民7%, アフリカ系・アフリカ系との混血3%
- ・言語: スペイン語
- ・宗教: カトリック
- ・政体: 共和制
- ・議会: 一院制(任期4年: 計137議席)
- ・GDP: 1,008億米ドル(2015年, 世銀)
- ・GNI: 一人あたり 6,010米ドル(2015年, 世銀)
- ・経済成長率: 0.3%(2015年, 世銀)
- ・失業率: 4.8%(2015年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

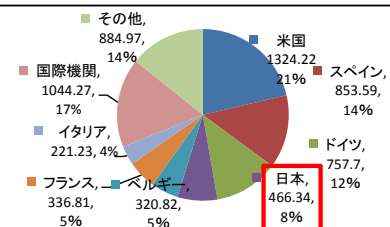
1809年	独立宣言
1822年	大コロンビアとして、スペインより独立
1830年	大コロンビアより分離独立
1979年	民政移管
1998年	1942年以来続いたペルーとのアマゾン地域を巡る国境紛争の終結
2000年	自国通貨スクレを廃止し、法定通貨として米ドルを導入
2007年	コレア大統領就任
2008年	新憲法制定

援助実績 (E/Nベース)

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	664.36億円 (2014年までの累計)
無償資金協力	349.30億円 (2014年までの累計)
技術協力	243.52億円 (2014年までの累計)
青年海外協力隊	延べ550人 (2016年6月時点で28人)
シニア海外ボランティア	延べ81人 (2016年6月時点で6人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

エクアドルへの主要ODA供与国 (1962年～2013年累積, 出典: OECD/DAC) (支出総額ベース)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からエクアドルへの輸出	413.6億円 (2015年, 財務省)
エクアドルから日本への輸出	813.1億円 (2015年, 財務省)
在エクアドル日系企業数	18社 (2015年, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
エクアドルにおける在留邦人数	383人 (2015年, 外務省)
在日エクアドル人数	241人 (2015年, 法務省)
エクアドルから日本への留学生数	20名 (2015年, JASSO)

日本とエクアドル共和国との協力年表

年代	案件
1918年8月	外交関係開設
1954年9月	外交関係再開(1942年に断絶)
1983年12月	一般文化無償資金協力: 中央銀行考古学博物館への文化財保存機材整備(初めての文化無償資金協力)
1990年	青年海外協力隊第一期生がエクアドルに派遣
1991年	無償資金協力: 「キト市公共輸送力増強計画」(4.09億円)(初めての無償資金協力)
1994年3月	ドゥラン・バジェン大統領の訪日(エクアドル大統領による初めての来日)
1994年10月	技術協力協定発効
1996年	一般文化無償資金協力: グアヤス州スポーツ連盟スポーツ器材整備供与
2003年6月	無償資金協力: アスアイ州地下水開発計画(6.52億円)
2004年1月-2009年1月	技術協力プロジェクト: ガラパゴス諸島海洋環境保全プロジェクト(6.82億円)
2004年3月	技術協力プロジェクト: 火山監視能力向上計画プロジェクト
2006年11月	JICAエクアドル支所開設
2010年	一般文化無償資金協力: 「ベンハミン・カリオン・エクアドル文化会館国立劇場音響及び照明機材整備計画」(95.7百万円)
2010年3月	無償資金協力: 新マカラ国際橋建設計画(8.0億円)
2010年9月	コレア大統領が実賓として訪日
2012年3月-2017年3月	技術協力プロジェクト: チンボラソ県持続的総合農村開発プロジェクト
2012年4月	第1回政策協議をエクアドルにおいて実施
2014年6月, 2015年6月	無償資金協力「チンボラソ県医療施設・機材整備計画」(10.19億円及び1.66億円(第2次))
2016年1月	青年海外協力隊事業50周年・エクアドルへのボランティア派遣25周年記念式典
2016年4-6月	エクアドル地震に対する緊急援助物資を供与、防災分野運営指導調査、緊急無償資金協力を実施

2018年には日・エクアドル外交関係樹立100周年を迎える。



2016年には第一期生の派遣から25周年を迎えた。

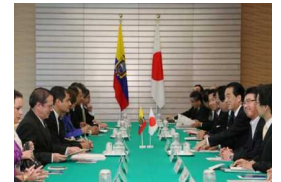


井戸の探掘・給水施設の整備を支援し、同地域の水因性疾患の減少と乳幼児死亡率の低下に寄与。

軍事衝突・紛争を繰り返してきたペルーとエクアドルの和平を象徴するマカラ橋。日本は40トンの重量まで耐えられる新たな橋の建設を支援。



コレア大統領に9名の閣僚と27名の企業家が同行。



エクアドルのマナビ県北部におけるM7.8の大規模地震の被害を受け、緊急援助物資を供与。

